



実際にスタッフも福祉用具を体験！！



当施設は、令和4年4月開設した特養。
開設前からコツコツとノーリフティングケア研修を実施！

《3月》

	月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5	6
AM 10:00～		安永監修員より 準備室での実地実習(太田)	歩道マナー(太田)	歩道対策(施設) リスクマネジメント(施設)	福祉用具(太田)		
PM 13:00～		オリエンテーション (スタッフ自己紹介など)太田	腰痛予防について (太田)	福祉用具(太田)	福祉用具(太田)		
	7	8	9	10	11	12	13
AM 10:00～	福祉用具(太田)	福祉用具(太田)	福祉用具(太田)	腰痛対策(施設)	福祉用具(太田)		
PM 13:00～	福祉用具(太田)	福祉用具(太田)	福祉用具(太田)	スマートコード(太田) バーンセシターカラム	福祉用具(太田)		
	14	15	16	17	18	19	20
AM 10:00～	腰痛予防(施設) ボクシングについて(太田)	福祉用具(太田)	つくも苑にて敷設説明 (昇降機・ガス・空調設備)	つくも苑にて敷設説明 (電気設備・暖管・放送設備)	つくも苑にて敷設説明 (排水・雨水処理システム・外構・化粧水栓)		
PM 13:00～	福祉用具(太田)	福祉用具(太田)	福祉用具(太田)	ケアプランについて(久藤)	プライバード部屋(施設) 個人情報保護(施設)		
	21	22	23	24	25	26	27
AM		福祉用具(太田)	会食時の対応(施設)	高齢者虐待予防(施設) 虐待防止手引(施設)	つくも苑にて介護記録勉強会 10時～11時		
PM		リフト(いりう) スライディングボード(パラマ ウンドベット)	福祉用具(太田)	福祉用具(太田)	スライディングシート (モリトー)		
	28	29	30	31			
AM	つくも苑にて 介護シミュレーション (現場での動き方)	つくも苑にて介護シミュレーション (現場での動き方)	つくも苑にて介護記録勉強会 10時～11時	つくも苑にて 介護シミュレーション (現場含む)			
PM		フレックスボード(LAC)	フレックスボードを実習して 介護記録含む				

当施設に於けるノーリフティングケア

- 準備室段階よりノーリフティングケア技術研修実施
- リフト7台、スタンディングリフト1台、ボード16枚、シート30枚、グロー740組等、**福祉用具が充実**
- ノーリフティングケアに**抵抗がある**スタッフは殆ど見られない

当施設のスタッフ増員経過



理想と現実…

開設に伴う準備不足・不十分な教育・マンパワー不足などが重なり、恵まれた環境にもかかわらず、スムーズにノーリフティングケアが進まない現実…



理想

- ・開設時から統一した介助方法が行えている
- ・定期的な研修等が開催できる
- ・対象者が安全な移乗できる
- ・腰痛なく介護が行える
- ・福祉用具を活用し、OJTによる伝達講習可
- ・リフトを活用し筋緊張の軽減等が図れている

現実

- ・開設準備の遅れが響きバラついた介助方法
- ・マンパワー不足で定期的な研修等が困難
- ・教育不十分で福祉用具を活用できていない
- ・介護時に腰痛を起こす人がいる
- ・OJT伝達講習の段階に達していない
- ・リフトの活用自体が少ない

まさかの現実(床が柔らかく、リフトが動かしづらい)も解決できた！

悩んでばかりではなく、最小限の動きでリフト操作がしやすい居室レイアウトを作成！！
計画(P)実行(D)のあと、振り返り・見直し(C)、対策を立てて改善(A)を考えるようになった！

before



ベッドがタテ向きで
リフトが動かしにくく
…

入口にチェストが
あって狭い…
リフトの動きが
複雑になる…

after



ベッドは
窓と並行に！

入口には
何も置かない！
リフトの動きは
前後のみ！

そんな時、当施設が県のノーリフティングケアのモデル施設に！

県の事業に参加したことでの少しずつわかってきたマネジメントの流れ！

施設長より、
ノーリフティングケア
宣言！

福祉用具管理の
ファイルを作成！

福祉用具の
保管場所を決めた！



研修はスタッフに
寄り添いながら

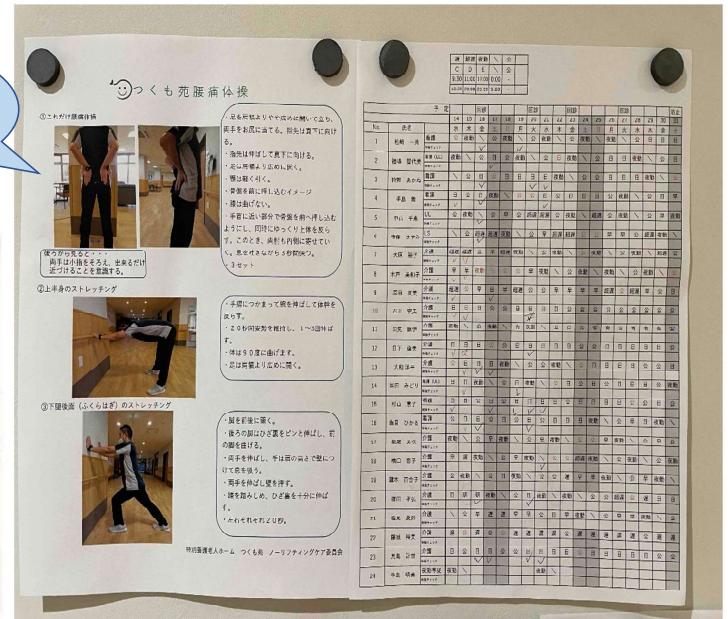
ヒヤリハット
ファイルを作成！



定着しない腰痛予防体操→定着するためには？と考えて、改善！

気軽に見えるように体操を2種類に減らし、「これだけ体操」を加え時間短縮！

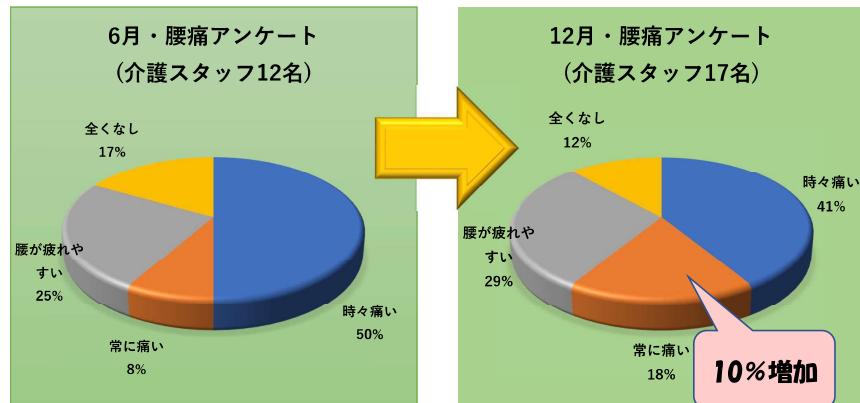
施設長自ら
体操モデルに



恵まれた福祉用具を活用する場面が増えてきた！



腰痛アンケート結果



初めて地域で活動！反響 半端ない！！



まとめ

県の事業に参加。マネジメントを少しづつ理解し、現在そのひとつひとつが整理されつつある。

今後の目標

- ・技術教育を確実に行ない、ノーリフティングケアを浸透させる
- ・腰痛のないスタッフの現状維持を継続
- ・腰痛保持者に対しては腰痛予防体操や体の使い方を活用し腰痛軽減を図る
- ・福祉用具の活用
- ・委員会の充実した活動と定着

私たちの目的

「入居者様とスタッフ双方に於いて
安心・安全・安楽なケアの提供が
日常的かつ当たり前にに行えている施設」

